

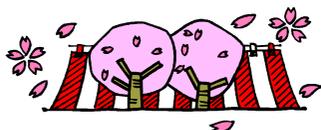


わくわく だより

★ 先日、東京タワーが見たいという息子を連れて東京へ行ってきました。数年前まで東京に住んでいたのに、ある程度東京の事情を知っていたつもりでしたが、新しいビル（それも30階建以上のもの）があちらこちらに建っているのを見て驚きました。不景気といわれているこの時代にどこかの企業が何故こんなにすごいビルを建てられるのだろうと考えさせられました。

やっぱり東京は違うなあとつくづく感じさせられる一日でした。それにしても上野公園のお花見は、とても賑やかで私もちょっと混ざってお花見をしたくなる気分でした。

（わくわくだより編集員・桜は散ってもまだまだ散れたくない私）



印鑑の掃除に輪ゴム

今回は印鑑の手入れについての一口知識。

印鑑は使っているうちに、朱肉が詰まってきて字が鮮明に出てこなくなりますから、時々きれいにクリーニングしておくことが大切です。よく歯ブラシで汚れを取ったりすることがありますが、下手をすると文字の角が欠けたりするので感心しません。

印鑑の手入れには、チューインガムやセロハンテープを使うほかに、輪ゴムを利用するのもいい方法です。

3本ほど束ねた輪ゴムを人さし指と親指にはめて伸ばします。伸ばした部分でハンコをこすると、文字の溝に詰まったカスがきれいに取れます。しかも、ゴムなので印鑑を傷める心配もありません。



風水開運法

「物を捨てたい」と思ったとき、捨てていいのかしらとか、どうやって捨てるんだろうと迷うことってありますよね。今回は「捨てる」ことをご紹介します。

○家にあっても使用しない物……風水では、古いものには運がつかないとされています。今の自分にとって不必要なものはすべて捨てましょう。いつか使うといいながら何年も使用していないもの、ありませんか？ ただし、先祖代々受け継がれてきたものは次の世代に受け継ぐことが大事ですので売り払うなどの行為は慎んだ方がよいでしょう。しかし家運が下降すると思われるものはすぐ処分してかまいません。

○贈りもの……基本的に嫌いな方や、あまり運のない方から頂いたものは使用しないで処分したほうが無難です。それが、高価だったり、デザインが気に入った場合はその方が身につけていたものでなければ、日に干すなどして気を清浄化した後に身につけましょう。また、運の強い方から頂いたものは大切に使いましょう。その人の運氣にあやかることができます。また、頂いたもので自分の好みに合わないものは、人に差し上げて問題ありません。

李家幽竹著「インテリア風水」より

私もいつかは（痩せたら）着るからとしまっておいた洋服、処分しようかなア……

インテリアの豆知識 イザという時に強い味方になるのが布のコレクション

■ 急なお客様が見えた時

常日頃からモデルルームのような片づいた暮らしは実際できるものではありません。特にお子さんがいる家庭ではなおさらです。リビングボードの上にはダイレクトメールやチラシ、学校からの通知などが、リビングテーブルの上には読みかけの新聞や雑誌、そしてソファの片隅には外出用の上着が掛けられている……。

来客の予定がたっているのであれば入念に部屋を片付けることができますが、問題は急な来客時です。散らかっていることは仕方のないこととして少しでも見栄えを良くする手段として、布でカバーするのも一つの方法でしょう。

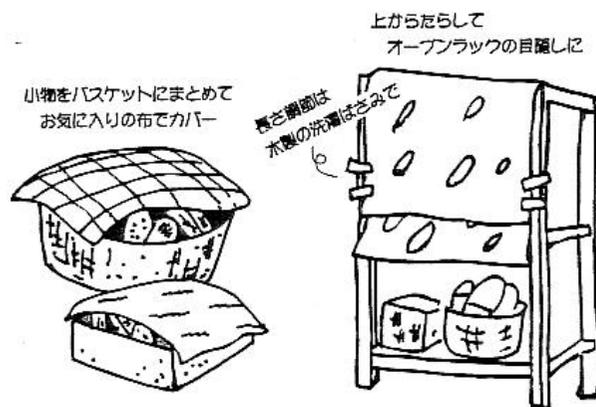
■ 部屋のインテリアに似合う布を探す

ただし、こんな状況でもできるならインテリアの遊び心を持ち込みたいもの。ソファの片隅を覆ってしまう布が単に白い布であったなら無粋でしょう。切りっぱなしの布で構わないので、日頃から意識して、その部屋のインテリアに似合う布をストックしておくとい良いでしょう。

■ 布を掛けるまたは包み込む

空いたソファなどに散らかっていたものをかためて、用意していた布を掛けてしまう方法や、バスケットなどにポンポンと投げ入れて布を掛けてしまう、または、大きな風呂敷のように布に包んでしまうという荒ワザや、見せたくない棚をフワッと布を掛けて目隠しするのもいいでしょう。同じ布を使えばインテリア的にも統一感ができるのでおすすめです。

布は必要に応じてハサミでカットできるので、大きめの布を買っておくとよいでしょう。



暮らしのアイデア

小皿や小鉢といった小さな食器の収納はどうされていますか？ 食器なんだから食器棚。というわけで食器棚へ並べていらっしゃる方が多いでしょう。でも奥行きのある食器棚に入ると探しにくくなり、出し入れも一苦労。場合によっては食器の存在自体忘れて使わずじまい、なんてことにもなりかねません。

でも発想を転換して、右の絵の様に引き出しを利用すれば、手持ちの食器が一度に見渡せ、出し入れも簡単に。小皿や小鉢の出番が増えることうけあいです。

